

令和4年度 国語科 「古典研究A」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年E～G組（理系） 選択者
教科書	新精選古典B 古文編・漢文編（明治書院）	副教材等	完全マスター古典文法（第一学習社）、精選漢文（尚文出版）、Look@古文単語337（京都書房）、新訂総合国語便覧（第一学習社）

1 学習の到達目標

古典としての古文と漢文を読解する能力を高めるとともに、古典学習に主体的に取り組む姿勢を養い、古典の豊かな世界を通してものの見方、感じ方、考え方を深め、自国の文化を愛する心を育成し、国際化社会に主体的に生きるために求められる日本人としての自覚を培い、多様な文化を尊重する態度を養う。

2 学習の計画

月	単 元 名	学習項目	主な学習内容や学習活動	主な評価の材料
4	和歌に表現された心情を捉えよう。	【古文】 随筆「枕草子」 ・かたはらいたきもの など	・古文の基礎事項（単語・文法・常識）を確認しながら、当時の和歌の持つ重要性を理解し、自分で解釈できるようにする。	・本文に関連する古文の基礎事項（単語・文法・常識）を理解し、和歌を解釈している。 （行動の観察）
5	比喩の対象を読み取り、言葉の持つ力強さを味わおう。	【漢文】 小話「孟母断機」など	・小話を読み、漢文の句形を正しく理解しながら、素早く的確に要旨を捉える。	・積極的に授業に参加し、表現や内容に関心を持っている。 （記述の確認）
6	物語の展開や人物の心情を捉えよう。	【古文】 物語「源氏物語」 ・車争い など	・源氏物語の全体的な物語展開を学ぶ。平安貴族文化の精華である本作品を細部にわたって味わう。	・作品の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について理解している。 （行動の観察）
7	語法・句法を理解し、登場人物の心情に触れよう。	【漢文】 小説「枕中記」	・唐代の文章を正確に読み、現代に通じるものの考え方を理解し、漢文をより身近に感じられるようにする。	・文章の内容や表現の特色を理解し、現代のものの考え方と照らし合わせて考察している。 （記述の確認）  ※定期考査や小テストの結果、授業中の発表や提出物の状態を総合的に評価する。
8	深く心情を理解し、他者理解を深めよう。	【古文】 日記「和泉式部日記」 ・夢よりもはかなき世の中を など	・作中の和歌から作者の心情を理解し、その生き様に思いを及ばせ、日記文学を鑑賞する醍醐味を味わう。	・作品の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作者の心情について理解している。 （行動の観察）
9				

月	単 元 名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料
10	深く心情を理解し、他者理解を深めよう。	【漢文】 史伝「史記」 ・廉頗と藺相如、荊軻、韓信など	・史記の構成や概要を把握し、重要な句形を確認しつつ、人物の関係や心情を読み取り、歴史上の劇的な場面を味わう。	・重要な句形の習熟し、作品の内容を捉える際に生かそうとしている。 (行動の観察)
11	平安朝の人間の価値観を読み取ろう。	【古文】 物語「堤中納言物語」 ・虫めづる姫君など	・物語全体の着想の奇抜さや新鮮さ、文章のテンポの速さとリズムなどを味わい、古文の面白さの一端に触れる。	・登場人物の行動や心情から、当時の人間の生き方や考え方を読み取ろうとしている。 (行動の確認)
12	各思想の特徴を知ろう。	【漢文】 思想「老子」「孟子」「韓非子」など	・諸子百家の概略を理解する。老荘思想を中心に、中国古代思想の多様性や独創性に触れ、人間や社会の在り方について考えを深める。	・授業に積極的に取り組み、老荘思想を中心に人間や社会の在り方についての考えを深めている。 (行動の観察)
1	評論を読み、論理的に考える力を養おう。	【古文】 評論「玉勝間」 ・師の説と違へること多く など	・古文での評論読解を深め、筆者の主張を根拠から理解し、批評を加えることを目指す。	・文章表現から、どのような批評か読み取ろうとしている。 (行動の観察)
2	日本の漢詩文の特徴について理解を深める。	【漢文】日本漢詩文 ・「読家書」「無題」「能登殿最期」 など	日本人の手に成る漢詩文に触れ、中国文化と日本文化について考える。	日本漢詩文を通して中国文化と日本文化について考えを深めることができる。  ※定期考査や小テストの結果、授業中の発表や提出物の状態を総合的に評価する。
3				

### 3 評価の観点

関心、意欲、態度	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典についての理解や感心を深めようとしている。
話す、聞く能力	
書く能力	
読む能力	古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察している。
知識、理解	伝統的な言語文化及び古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解している。

### 4 評価の方法

「関心、意欲、態度」、「読む能力」、「知識、理解」の観点から評価規準に従い、定期考査の結果、提出物の在り方、授業中の姿勢、アウトプットの仕方などを鑑み、総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

「古典研究A」では、まずは基本的事項（文法や句法、語句の意味や古典常識など）を定着させ、自力で古典を読み味わう力をつけていきましょう。その上で、古典をただの読み物として捉えるのではなく、現代と結び付けながら何かを学び取っていく態度を養ってください。